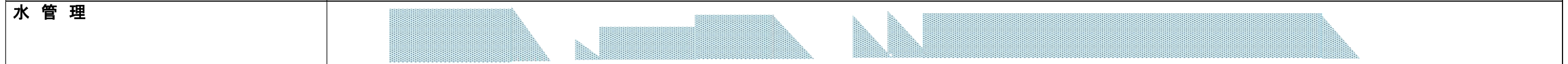


鉄コーティング湛水直播栽培暦【2018年】

平成30年4月1日
作成:JA庄内みどり 協力:酒田農業技術普及課

月旬別	4月		5月			6月			7月			8月			9月			10月																																																														
	下	上	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上																																																														
生育 『はえぬき』	播種 → 出芽期 → 有効分けつ期 → 無効分けつ期 → 幼穂形成期 → 減数分裂期 → 出穂期 → 乳熟期 → 収穫期																																																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時期別生育指標</th> <th>月日</th> <th>6/10</th> <th>6/20</th> <th>6/30</th> <th>7/10</th> <th>7/20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>草丈(cm)</td> <td></td> <td>20</td> <td>27</td> <td>37</td> <td>49</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>茎数(本/m²)</td> <td></td> <td>245</td> <td>450</td> <td>635</td> <td>725</td> <td>685</td> </tr> <tr> <td>葉色(SPAD)</td> <td></td> <td>36</td> <td>39</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>葉数(枚)</td> <td></td> <td>5.4</td> <td>7.3</td> <td>8.8</td> <td>9.9</td> <td>11.0</td> </tr> </tbody> </table>						時期別生育指標	月日	6/10	6/20	6/30	7/10	7/20	草丈(cm)		20	27	37	49	66	茎数(本/m ²)		245	450	635	725	685	葉色(SPAD)		36	39	40	40	39	葉数(枚)		5.4	7.3	8.8	9.9	11.0	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">基本生育指標</th> <th rowspan="3">収量 kg/10a</th> <th rowspan="3">整粒歩合 %</th> <th colspan="4">収量構成要素</th> <th rowspan="3">稈長 cm</th> <th rowspan="3">穂数 本/m²</th> <th rowspan="3">最高茎数 本/m²</th> <th rowspan="3">有効茎歩合 %</th> </tr> <tr> <th colspan="2">粒数</th> <th rowspan="2">玄米 千粒重 g</th> <th rowspan="2">精玄米 粒数歩合 %</th> </tr> <tr> <th>1穂粒</th> <th>m²当たり粒</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>580</td> <td>80</td> <td>58</td> <td>33,000</td> <td>22.3</td> <td>79</td> <td>77</td> <td>585</td> <td>725</td> <td>81</td> </tr> </tbody> </table>												基本生育指標	収量 kg/10a	整粒歩合 %	収量構成要素				稈長 cm	穂数 本/m ²	最高茎数 本/m ²	有効茎歩合 %	粒数		玄米 千粒重 g	精玄米 粒数歩合 %	1穂粒	m ² 当たり粒		580	80	58	33,000	22.3	79	77	585	725
時期別生育指標	月日	6/10	6/20	6/30	7/10	7/20																																																																										
草丈(cm)		20	27	37	49	66																																																																										
茎数(本/m ²)		245	450	635	725	685																																																																										
葉色(SPAD)		36	39	40	40	39																																																																										
葉数(枚)		5.4	7.3	8.8	9.9	11.0																																																																										
基本生育指標	収量 kg/10a	整粒歩合 %	収量構成要素				稈長 cm	穂数 本/m ²	最高茎数 本/m ²	有効茎歩合 %																																																																						
			粒数		玄米 千粒重 g	精玄米 粒数歩合 %																																																																										
			1穂粒	m ² 当たり粒																																																																												
	580	80	58	33,000	22.3	79	77	585	725	81																																																																						



管理
ステージごとの注意点

均平な圃場作り ※注 苗立ち数確保のポイントを参照 → 播種は移植と同時期、または直前、直後 → 倒伏に注意 → 収穫は7日程度の遅れ ※刈取晩限に注意して刈遅れにならないように注意する。

雑草対策
播種時にサンバード粒剤またはプレキープ1キロ粒剤(フロアブル)を施用する。7日間湛水後に自然落水

肥培管理
1.0葉期に入水
ポテ-ガードプロ1キロ粒剤、ハッチリ1キロ粒剤、センイチMX1キロ粒剤等を散布する。 ※直播登録のある剤を使用する。

※雑草が残る場合はバサラン粒剤(液剤)・ワイドパワー粒剤・クインチャーパスME液剤などを散布する。
※イボクサが残る場合はミニ液剤を散布する。

病虫害対策
『はえぬき』:湛水直播専用一発肥料『じかまきくん』 40kg/10a ※堆肥を施用した場合は減肥する

播種～苗立ち期にイネミスゾウムシ等が発生することがある。圃場観察を行い、早期発見・適期防除とする → トレボン粒剤・シクロバック粒剤等で対応
いもち病の発生が懸念される場合は、コラトップ粒剤5等で対応

初期害虫以降の本田病虫害防除については移植栽培に準じて実施する。
葉色が濃いほ場では、イネツムシやいもち病の発生に注意する。

鉄コーティング湛水直播のポイント
【鉄コーティング種子の準備】

種子準備 (10a 当たり 4~5kg 準備(乾籾)) → 3~4日 13~20℃浸種 発芽させない → 鉄コーティング (乾籾の0.2倍量 ~ 0.5倍量の鉄粉) → 発芽率測定後 保存

【注 意 点】高い収量と良好な雑草管理のための目標苗立ち数は 120~80 本/m²
苗立ち率 50%のとき苗立ち数 80 本/m²を確保するために必要な播種量は乾籾で 4.5 kg/10a です。

【除草剤と水管理の日にちの目安】

＜湛水播種＞
耕起・草押さえ → 入水 → 荒代かき → 本代かき → 自然減水 → 表面播種 (サンバード粒剤、プレキープ1キロ粒剤、プレキープFL粒剤、いずれか) → 自然減水 → 出芽始期落水 → 間断灌溉 → 入水(本葉1葉期) → 除草剤 (ポテ-ガードプロ1キロ粒剤、ハッチリ1キロ粒剤、センイチMX1キロ粒剤 ※直播登録のある剤を選択)

7日 → 1~2週間

○コーティング資材の使用例 0.5倍重の場合
始めにA~Cと水を混ぜ、落ち着いたところでDを振り混ぜる。
A 乾籾 : 10.0kg
B 鉄粉 : 5.0kg
C 焼石膏 : 0.5kg
D 仕上げの焼石膏 : 0.25kg

※注 苗立ち数確保のポイント
~代かきから播種まで~
・代かきは移植栽培よりも固めにする。
・代かきから播種までは3日程度空けて圃場を落ち着かせる。
・播種時の目安は、ゴルフボールを1mの高さから落として半分埋まる程度。

点播機や条播機での播種時は、走行位置(マーカー)を確認するため、一時的に水位を下げます。播種同時でプレキープ1キロ粒剤またはFL・サンバード粒剤を散布し、入水し7日以上水位を保ちます。

無人ヘリや動力散布機で播種する場合は、播種時に3~5cmの水深を保つことが必要です。種子が圃場に落下する際に土中に埋もれてしまうと苗立ち不良につながります。

カモによる食害がひどい場合は、播種後落水をします。除草剤の効果が弱くなるため、その後の除草剤の施用時期に注意が必要です。